



教室棟 1階に心臓救命装置 AED (自動体外式徐細動器) が取付けられました。

10月に入り、アジ研にも「勉学の秋！」がやって来ました。熱帯夜による睡眠不足や、食欲不振などで悩む実習生もほとんどいなくなり、実習生の皆さんは、以前にも増して集中して日本語学習に取り組んでいます。会話練習の話題として、「週末の過ごし方」について話を聞いても、長時間自主学习に取り組む実習生の数が増えてきています。そんな実習生の皆さんの「勉学の秋」をサポートすべく、アジ研では現在、希望者には週末も教室を開放しています。

ホテル実習生の皆さん紹介！

先日、総勢 73 名のホテル関係の実習生の皆さんが、アジ研での日本語講習を終え、実習先へと巣立っていきました。講習修了後に行われた受入れ団体主催のレセプションでは、実習生が雲南地方の民族衣装を身に付けて、民族楽器と踊りを披露してくれました。

皆さんは、来日前に中国の大学や専門学校で、1年から3年間の日本語学習をしてきており、既に日本語能力検定試験の N3 レベルの日本語能力を身に付けている実習生たちです。そのためアジ研での日本語学習は、ホテルでのサービス業務に欠かせない敬語表現・日本式の接客マナー等、より実践的なカリキュラムで実施されました。

実習生の皆さんが、アジ研で学んだことを技能実習に活かし、有意義な実習生活を送れることをスタッフ一同願っております。



今月の実習生

中華人民共和国 (吉林省) 出身
林 召虎 (リン ショウコ) さん



今月の実習生は、中国人実習生のリンさんです。リンさんは、調理師として働いていた経験があり、「寮で仲間たちに、よく自慢の腕を振るっている」と言う噂が、毎日の会話練習などを通して、私達講師の耳に入ってきました。そこで、リンさんに、アジ研通信のために自慢の一品を作って欲しいとお願いしたところ、作ってくれたのが「マーボ豆腐」です。所要時間はわずか 15 分。その手際の良さはプロそのもの！味も絶品で、辛さの中にもコクがあり、中華料理の奥深さが体験できる一品でした。試食した講師陣も口々に「お店で食べてみたい！」「いや、お店よりおいしい！」と笑みを浮かべながら感想を述べ合っていました。ちなみに、家庭でマーボ豆腐をおいしく作るコツは、①ひき肉を少なめに入れること②豆腐を煮込みすぎないことだそうです。「リンさん、どうもご馳走様でした！」(スタッフ一同)



素早く豆腐を入れて



慣れた手付きでとろみを付け



マーボ豆腐の出来上がり！

あじけん流日本語授業

～視聴覚教材を用いた授業：歌の活用～

今月のあじけん流日本語授業は、「日本語の歌」を教材にした活動の実践例をご紹介します。

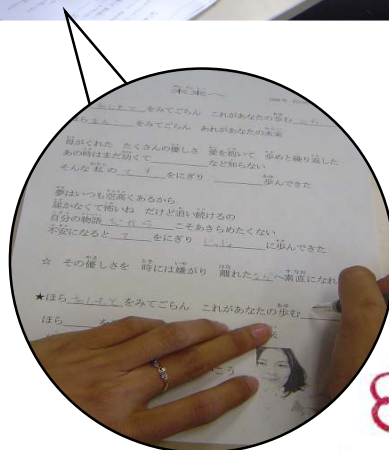
授業の中で歌を活用する授業パターンはいろいろありますが、アジ研では学習者の日本語の習熟度を考慮し、主に単語レベルの「聞き取り」・「発音」の練習として取り入れられています。

まず、実習生の皆さんには、いわゆる「虫食い状態」の歌詞（歌詞の中のいくつかの単語が（ ）で空欄になっている状態の歌詞）が書かれているワークシートが配られます。そして、CD から流れる歌を聞きながらその空欄に当てはまる単語を聞き取り、ワークシートに聞き取った単語を記入していきます。2回～3 回この活動を繰り返した後、答え合わせを行ない、虫食い状態の歌詞の空欄が全て埋まったところで、歌詞の大まかな内容を単語レベルで解説していきます。最後に、歌詞の音読を数回行なってから CD に合わせて皆で合唱します。

日本の歌を聞いたり歌ったり、この活動では楽しみながら単語や発音の練習が出来るため実習生の皆さんにも大人気です。また、1日8時間の長丁場の講習、特に午後の授業はどうしても集中力が途切れがちになってしまうことがあります。そんな時、この活動は、学習者のモチベーションの向上や、気分転換といった役割も果たしています。

ちなみに今回の授業で用いられている曲は kiroro の「未来へ」。特に中国人実習生の皆さんに大人気です！

みんな、
よく聞いてね！



ほら～、あしもとを みーてごらん・・・♪♪♪